

グループワーク 意見記録用紙

グループ 1

連番	委員名	政策分野 (1～9)	分野別の認識 政策の方向性 施策の柱の別	意見（背景や理由も含めて） →事務局の回答 ※赤字：グループの主要な意見として全体で発表するもの	追加すべきキーワード ※赤字：本文の修正箇所
1	委員①	1 防災	政策の方向性	在住外国人の比率が増加する傾向にあるため、言葉が通じないことによる不安・誤解などが懸念される。外国人という言葉を入れたほうがよいのではないか。 →「人口減少・少子高齢化社会における人口構成の変化」という表現の中に含まれていると捉えていただきたい。基本計画の中で、考え方を取り入れることとしたい。	
2	委員②	基本理念		「◆どこよりも元気に」という項目の中で地域の活性化のことが主に記載されているが、「元気」という表現があるため、医療・健康についても触れたほうがよいのではないか。 市民意見を見ると、医療・健康への関心も一定程度あると考えられる。 →健康・福祉の観点は上段「◆ここにしかない個性を大切に」に、生活環境の向上や教育・文化活動の振興と併せて市民の「健康づくり」という観点で記載しているため、同文脈で捉えて頂きたい。	
3	委員②	2 健康・医療・福祉	政策の方向性	「住み慣れた地域で安心して生活できる」という文言の中に、「本人の意思の尊重」「尊厳を大切に」といったことを含めたらどうか。それぞれの暮らし方という観点では、最後まで家で暮らしたい・家族の負担になりたくないなど、それぞれの考え・価値観がある。 →政策の方向性の中に記載	住み慣れた地域で安心して、個人の意思を尊重して生活できる環境づくり
4	委員③	1 防災	分野別の認識	「災害時用配慮者」と記載があるが、子どものことも記載したほうが良いのではないか。 →高齢者や障害者「など」に含まれていると捉えていただきたい。	
5	委員③	全般		「障害者」と表記されているが、個々の心身等の状況を個性として捉えた際に「害」という表記が適切な表現であるのか。 →現行計画における漢字の表記は国の要領に整合させている。担当課を交え、他の外部団体、個人等からの要望等があるかを踏まえて検討したい。	
6	委員③	1 防災	政策の方向性	「消防団・静岡市消防局との体制」とあるが、大規模災害が発生した場合の近隣の市町との連携などはどうなっているか。静岡市という固有名詞が出てくると他市町とは連携していないのではないかと読み取れる。 →静岡市消防局は、広域連携をしているので、静岡市以外の近隣市町も含まれている。	

7	委員④	1 防災	政策の方向性	委員①の御意見と同様、防災については外国人の標記を入れたほうがよいと考える。外国人の方から、防災に関するメールなどが来ても、日本語で書かれているためどうしたらよいのかわからない、という相談を頂くことがある。 →基本計画の中で、考え方を取り入れることとしたい。	
8	委員④	3 地域・生活	政策の方向性	多文化共生と多様性は似て非なるものであるため、言葉の使い方をどのようにするか整理が必要であると考えている。 多文化共生という言葉は既に知れ渡っている言葉なので、方向性ではもう一歩踏み込んでほしい。 →基本計画の中で、もう一歩踏み込んだ施策としていきたい。	
9	委員④	3 地域・生活	政策の方向性	外国人の人がその地域に馴染める、という観点のみではなく、地域に住んでいる人の受け入れる側としての視点（理解・歩み寄りなど）も取り入れてほしい。 →基本計画の中で、考え方を取り入れることとしたい。	
10	委員⑤	1 防災	分野別の認識	地域防災力とあるが、大規模災害が発生した場合、避難所や公会堂では地域の全員を受け入れることは不可能であるため、こういった対応ができるのかが気になった。	
11	委員⑤	3 地域・生活	分野別の認識	空き家対策とは、新たな利用・倒壊などへの対策、どちらについて考えているのか。 →両面を考えている。例えば防災という観点では、空き家は倒壊の危険性があるため、解体の補助も、利用する方へ向けたリノベーションの補助も行っている。 空き家対策には強制力がないことも問題ではないか。 →「実効性のある」という言葉にそういった点も含まれているが、基本計画の中で具体的にどのようなことをしていくのか練っていききたい。	
12	委員⑥	3 地域・生活	政策の方向性	大学で県外の友人と関わる機会が増えたが、住んでいる地域や出身地などでも考え方が違いがあることを実感している。「国籍や文化」に「考え方」も併記してはどうか。 →次の段落の「年齢・性別など」に含まれる部分と考える。県外の方の違いを理解しあうことも重要な取り組みの一つであるため、基本計画の中で具体的にどのようなことをしていくのか練っていききたい。	
13	委員⑥	1 防災	分野別の認識	防災訓練の際、地域によっては公園に集まって終わりのようなところもある。 防災訓練に地域格差があると感じた。 →基本計画の中で練っていききたい。	

14	委員⑥	戦略課題の認識		「多文化共生」という言葉がない。第2次総合計画の中で多文化共生について、どのような課題が挙げたのか。 →「戦略課題の認識」ではSWOT分析を行う中で挙げた課題のみを列挙しているが、時代の潮流では多文化共生の必要性についても触れられている。また、課題としては「国籍や文化の違いなども含めた多様性の理解」「お互いを尊重し合う機運の醸成」が考えられることから、それに対する政策の方向性として多文化共生を記載している。	
15	委員③	はじめに		循環型社会の実現を目指す取組の例として、「リサイクル」という個別具体的な言葉を記載する必要があるのか。 →未定稿箇所であるため、文章の作成にあたって頂いた御意見を参考としたい。	
16	委員③	基礎調査		「3【将来人口推計】」の3が表現する部分は何か。 →注釈番号として文言の右上等に小さく記載する「3」が誤って大きく記載されたもの。誤字、脱字、標記の誤りなどは公開前に全体を通して改めて確認する。	

グループワーク 意見記録用紙

グループ2

連番	委員名	政策分野 (1～9)	分野別の認識 政策の方向性 施策の柱の別	意見（背景や理由も含めて） →事務局の回答 ※赤字：グループの主要な意見として全体で発表するもの	追加すべきキーワード ※赤字：本文の修正箇所
1	委員⑦	4 子育て・教育	政策の方向性	行政・園・民間団体130団体が加入している「島田市子育て支援ネットワーク」も島田市独自のもので、市内の子育て支援を充実させていると思うのですがその文字はここでは入らないのでしょうか？ →政策の方向性は本政策分野全般に共通する内容を網羅的に記載しているため、具体的な取組については基本計画でその内容が読み取れるように記載していきたい。	
2	委員⑧	4 子育て・教育	分野別の認識	核家族化により仕事と子育ての両立に困難を抱える世帯が増加しているため、「地域全体で子育てする環境づくり」は大切であると考えます。	
3	委員⑨	4 子育て・教育	政策の方向性	市外から見た島田の魅力として、「人柄がゆったりしている」「広々とした環境」が挙げられる。 施策の方向性の内容は網羅できていると思うが、もう少し島田市らしさがあれば良いと考える。例えば、教育の中に、「市民ひとり1スポーツ」が挙げられているが、（首都圏や大都市でもできるインドアスポーツとは異なる）島田市でこそできるアウトドアスポーツなどのようなものを表現できるとよいと考える。 →ワークショップの中でも都会とは異なる「住みやすさ」が挙げられたため、基本計画で具体化する中でもこういった特徴を意識していきたい。また、島田市らしい施策という観点も、基本計画の中で、考え方を取り入れることとしたい。	
4	委員⑩	4 子育て・教育		取組の結果をどう評価するのが知りたい。例えば、教育の現場においては、宿題をなくして自学を主体とする教育が増える中、子どもが勉強についていけなくなるケースもあるため、島田市内の学校で均一に教育を受けられるための評価指標（授業が理解できるか、など）を設けることも必要ではないかと考える。 →現行の計画においても施策の取組の評価は「めざそう値」という形で設けているが、次期総合計画作成にあたって、市側の目線のみで一方向的な評価基準を作ることがないよう留意したい。	

5	委員⑪	4 子育て・教育	分野別の認識	「結婚、妊娠、出産、育児、教育を通して、」もう少し詳しく盛り込んだほうが、若い世代がイメージしやすいのではないかと考える。 →市としても力を入れているため、ネウボラなど独自の取組をPRしつつ、基本計画の中で考え方を取り入れることとしたい。	
6	委員⑪	5 観光・交流・歴史・文化		東京からの移住者を増やそうという取り組みを行ったが、東京だけでなく、長野、山梨等の近隣も実家にも帰りやすいというメリットがあるため、同様のイベントを実施したかどうか。 →移住・定住についても、緑茶化計画などのツールを使うとともに、市ならではのものを積極的に活用してシティプロモーションにつなげたい。	
7	委員⑫	6 経済・産業	政策の方向性	全般を通してDX、GX、UIJ等、時代には合っているが、島田市らしさがほしい。	
7	委員⑫	6 経済・産業	政策の方向性	「物価上昇・燃料費高騰等の影響を受けて停滞する地域経済活動に対し、この機会を好機と捉え」という表現はどうか。苦しんでいる事業者が多く、好機と捉える人がいないわけではないが、少ないのでは。 →頂いた御意見を踏まえて表現を検討したい。	物価上昇・燃料費高騰等の影響を受けて停滞する地域経済活動に対し、 この機を捉え 起業を志す方へのサポート
8	委員⑫	7 経済・産業	政策の方向性	「多様な働き方の支援やUIJターンの促進などにより地域経済を支える人の確保に取り組んでいきます。」という点について、外国人、障害者の働き方の支援など、すべての人に対する労働環境の整備についても記載するのが良いのではないか。	
9	委員⑫	8 経済・産業	政策の方向性	商店街のにぎわい創出は難しいと考える。店舗兼住宅が多く、店舗を借りたくても実現が難しいのが実情ではないかと考える。 また、まちなかのウォークラブルについても言葉では簡単に言えるが、簡単ではない。 →「ウォークラブルなまちづくり」という観点では島田らしさを強調できるようなまちづくりとなるよう、担当所属とも意見を共有したい。	
10	委員⑫	9 経済・産業	政策の方向性	お茶だけでなく、その他の食材に関しても目を向け、「稼ぐ」という観点ではお茶以外の農産物のキーワードもいれてはどうかと考える。	
11	委員⑩	4 子育て・教育	政策の方向性	「魅力ある授業づくりや特色ある教育活動を通して」という記載について、主語を子どもに置き、「子どもにとって魅力ある授業づくりや～」などの表現があると良いと考える。 →頂いた御意見を踏まえて表現を検討したい。	子どもにとって 魅力ある授業づくり

グループワーク 意見記録用紙

グループ3

連番	委員名	政策分野 (1～9)	分野別の認識 政策の方向性 施策の柱の別	意見（背景や理由も含めて） →事務局の回答 ※赤字：グループの主要な意見として全体で発表するもの	追加すべきキーワード ※赤字：本文の修正箇所
1	委員⑦	8 環境・自然	政策の方向性	島田市は来年度「オーガニックビレッジ宣言」をするための動きをしていると思うのですが、その文字がどこかに入らないのでしょうか。 担当課は農業振興課になるので、⑥（産業・経済）のほうになるのかもしれませんが、オーガニックビレッジは環境にも関わっていると思うので、どこかに入っているといいと思いました。 （委員⑬）生産者としては難しいと思う。工場で野菜を生産している事例もあるが、自然の農業とは違う。有機栽培により、商品になりづらい作物をうまく活用することも必要。高齢者が辞めてしまう中で、農業をやりたい若者への支援が必要。その指導のための人材も必要となる。 →環境に配慮した農業を行うという観点を政策の方向性に記載	環境に配慮した農業への支援や農林地の適切な保全管理を行う
2	委員⑬	7 都市基盤	政策の方向性	コンパクト・プラス・ネットワークの考え方では中心部はにぎわうが、それ以外の地域の賑わいがなくなってしまうような印象がある。観光客向けにも、中心市街地だけでなく、それぞれの地域を結べる道路整備ができればよいのではないかな。 →施策の柱「安全で快適な生活基盤を整える」の中では生活道路をについても記載しているため、拠点間のネットワーク以外の道路についても引き続き維持していく。	
3	委員⑬	7 都市基盤	政策の方向性	下水道の事故を踏まえて、メンテナンスしやすいインフラを整備したほうが良い。今までのインフラ整備は地中に埋めて外から見えない。それが見えるようになればいい。 ドローンを走らせて調査する手法もあるが、高速道路は鉄だから調査できる。水道管も調査できるかもしれないが、全範囲を網羅するのは難しい。	
4	委員⑭	9 行財政	政策の方向性	D Xを推進し業務の効率化はよいことである一方で、「安全な」ということも必要では。アナログなら大丈夫でもデジタルとなったときに新たな脅威にさらされることもある。そういったことも意識できるとよい。 →基本計画やDX推進計画の参考としたい。	
5	委員⑮	9 行財政	政策の方向性	D X推進により、窓口に行っていたものがオンラインで完結できるようになり便利になるが、一定の年代は新たなデジタル技術にとっかかりづらく、例えばキャッシュレス決済に対応できなかったりする。そういった新たな技術への抵抗感を取り除くような取り組みをその世代に向けて働きかけていくことで、スムーズなデジタル化の浸透につながると思う。 →基本計画やDX推進計画の参考としたい。	

6	委員⑬	7 都市基盤	政策の方向性	地域の公共交通の整備も必要。採算性の面で難しいと思うが、高齢者が多い地域にも整備してもらえるとよい。 →基本計画の参考としたい。	
7	委員⑭	9 行財政		D Xは様々な分野にできるため、まずどこ分野をD Xするか決める必要がある。近隣市町では、全国的に市町名が知れるほど教育分野を整備している事例もある。	